

33 薬用作物等地域特産作物産地確立支援事業 [新規]

【468（一）百万円】

対策のポイント

数十種類にも及ぶ薬用作物について、地域ごとのほ場条件にあわせた栽培技術等の最適化を図るため、産地固有の課題解決に向けた取組を支援します。

<背景／課題>

- ・ 漢方製剤・生薬の原料となる薬用作物は、8割以上を中国からの輸入に依存していますが、漢方薬メーカーからの要望もあり、国内需要の拡大が見込まれ、また耕作放棄地の活用や中山間地域の活性化につながる作物として国内生産への関心が高まっています。
- ・ 薬用作物は、一定の品質をクリアするための栽培技術の確立など生産上の課題への対応が必要なことから、厚生労働省や研究機関と連携して生産体制を整備することが求められています。

政策目標

薬用作物の試験栽培等を通じて新たな産地を創出し、国内生産量を平成28年度までに1.5倍に拡大（平成22年度比）

<主な内容>

薬用作物等産地確立支援

薬用作物の産地形成に向けて、以下の取組を支援します。

- （1）地域ごとの気象条件・土壌条件等に適した品種の選定や栽培マニュアルの作成
- （2）安定した生産に資する栽培技術確立のための実証ほ場の設置
- （3）低コスト生産体制の確立に向けた農業機械の改良等

補助率：定額、1／2以内
事業実施主体：民間団体等

<各省との連携>

- 厚生労働省
 - ・ 漢方薬メーカーの需要情報の取りまとめ、提供
 - ・ 薬用作物の新たな育種、栽培、生産技術に関する研究の推進

[お問い合わせ先：生産局地域作物課（03-6744-2117）]

薬用作物等地域特産作物産地確立支援事業

- 国内の漢方薬の生産金額が拡大する中で、原料となる薬用作物は、今後とも**需要の拡大が見込まれる数少ない作物**。契約栽培の下、一定の品質規格をクリアすれば**複数年間実需者の購入が見込まれ**、これを経営に組み込むことで、**農業の所得向上・経営安定に大きく貢献**することが期待される。
- 地域としても、薬用作物の産地化を促進していくことで、**耕作放棄地の活用**や**中山間地域の活性化**を図っていくことが可能。
- また、薬用作物の生産拡大を通じた**医食農連携の実現**も可能。
- このため、**薬用作物の産地化における課題に即応する産地に対し支援**。

産地

- ・所得を増やしたい
- ・地域を活性化したい
- ・後継者を確保したい
- ・耕作放棄地を解消したい

しかし、何を栽培してよいか分からない！



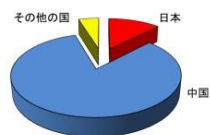
- ・何を栽培したら良いのか
- ・種苗はどのように入手できるのか
- ・どうやって作るのか
- ・いくらで売れるのか etc

実需者（漢方薬メーカー）

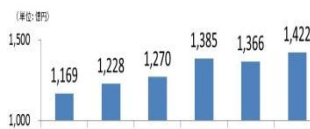
- ・原料を中国に依存
- ・中国国内の需要量増大
- ・輸入価格の上昇
- ・漢方薬需要の増大 etc

国内での安定供給を希望

○漢方製剤等の原料生産国



○漢方製剤等の生産金額の推移



情報交換が必要

各々が有するニーズ
情報の交換・共有

国内での生産を
希望する品目 etc

サイコ、シャクヤク、
トウキ、ボウフウ、
カノコソウ、センブリ、
オタネニンジン etc



産地化の検討



栽培可能な
品種・面積 etc

産地化への対応方向

課題

- 契約栽培の相手先をどう見つけるのか。
 - 一般的な種苗会社では種子・種苗を販売していない。
 - 「日本薬局方」に定める品質規格をクリアするための栽培技術の定着が必要。
 - 使用できる農薬、農業用機械が少ない。
- 等の課題が存在。

産地化の取組

- 産地側と実需者のマッチングの促進
- 種子・種苗の安定供給体制の確立
- 実証等による栽培技術の確立
- 農業用機械の改良
- 栽培マニュアルの作成

『攻めの農林水産業』
『健康長寿社会』
の実現

新たな産地形成

地域特産品の開発
観光との連携